

今日の給食は、ねぎ塩豚丼の具、なめこ汁、りんご（サンふじ）、ご飯、牛乳でした。キン肉マンも大好きな某牛丼チェーン店の「並」を初めて食べたときは、あまりのおいしさに「大盛にすればよかった（当時は『特盛』はまだなかった。）いや、待てよ。もう一杯『並』を頼めばいいんじゃないか？」と激しく自問自答したことを覚えています。人は時の移ろいとともに、「初めて」の感覚を次第に忘れゆくもので、一人でふらりとお店に入り、おもむろに「並とたまご」なんて頼むことにも抵抗がなくなっていたころでした。隣の席から、「並、つゆだくで」と声が…。「なんじゃこりゃ?!（松田優作風）」と驚きました。さらに別の時は、「並、つゆだくだくで」とか「ネギだくで」とも…。「知らない世界があるもんだ。実に奥が深い」と感じたものです。今日のねぎ塩豚丼の具は、いわゆる「ねぎだく」（ねぎがたくさん入った様を示す。また、その注文の仕方、『つゆだく』は、煮汁がたくさん入った状態。『つゆだくだく』は、さらに煮汁が多い状態を示す。英語の比較級（more）と最上級（most）の関係に近い?）。北海道産の玉ねぎと南三陸町（グリーンファーマーズ）産の長ねぎがたくさん入っていてもおいしくて栄養満点でした。紅生姜と七味があれば完璧か…（贅沢?）。

